

宝塚大学 看護学部 看護学科 2019年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

担当教員	専任/ 非常勤	授業科目	科目No.	必修/ 選択	単位数	時間数	実務経験概要	実務経験の反映内容
峯岸 由紀子	専任	基礎看護学Ⅰ (概論)	KSP11101	必修	1	30	総合病院で看護師として内科での臨床経験がある。また、大学における健康管理室で学生・教職員の傷病の発生時の対応や健康診断関係の業務に従事した。	臨床での経験を踏まえて、看護実践の基盤となる基本的な考え方や、看護援助の基本的な方法である自然治癒力を引き出す「日常生活援助」について具体的な技術指導を行う。
		基礎看護学Ⅳ-1 (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	30		
		基礎看護学Ⅳ-2 (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2	60		
澤田 京子	専任	基礎看護学Ⅱ (コミュニケーション技術)	KSP11201	必修	1	30	総合病院で看護師として内科と外科での臨床経験がある。また、企業の健康管理室での健康教育に携わった。	臨床での事例を踏まえて、コミュニケーションに必要なポイントを教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメント・看護過程の展開技術や事例提供を行う。
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1	30		
		基礎看護学Ⅵ (看護過程)	KSP21203	必修	1	30		
尾ノ井 美由紀	専任	基礎看護学Ⅲ (健康教育)	KSP21201	必修	1	30	総合病院で看護師として手術室、脳外科病棟と一般内科病棟で5年の臨床経験がある。また、保健所で保健師13年の経験がある。	病院入院中の療養者への臨床看護から退院へと、地域移行支援における看護師の役割から在宅療養中の本人及び家族への看護を教授する。また、疾病から健康の維持・増進と健康段階に合わせた看護提供の必要性を教授する。
		在宅看護論Ⅰ (概論)	KSP21109	必修	1	15		
		在宅看護論Ⅱ (訪問看護の展開方法)	KSP21210	必修	1	15		
		在宅看護論Ⅳ (地域ネットワーク論)	KSP31203	必修	1	30		
瀬山 由美子	専任	基礎看護学Ⅳ-1 (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	30	総合病院で看護師として内科と外科での臨床経験がある。また、企業の健康管理室での健康教育に携わった。	臨床での事例を踏まえて、コミュニケーションに必要なポイントを教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメント・看護過程の展開技術や事例提供を行う。
		基礎看護学Ⅳ-2 (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2	60		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1	30		
平野 加代子	専任	基礎看護学Ⅳ-1 (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	30	総合病院で看護師/助産師として急性期病棟での臨床経験がある。	臨床での事例を踏まえて基礎看護技術を教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメント・看護過程の展開技術や事例提供を行う。
		基礎看護学Ⅳ-2 (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2	60		
		基礎看護学Ⅵ (看護過程)	KSP21203	必修	1	30		
中川 ひろみ	専任	成人看護学Ⅰ (概論)	KSP11102	必修	1	30	大学院で看護師、認定看護師、看護師長として内科と外科、集中治療室・救急部での臨床経験がある。成人期にある人々を対象とした看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ急性期、慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
山本 裕子	専任	老年看護学Ⅰ (概論)	KSP21101	必修	1	30	看護師として、総合病院のICU病棟と消化器外科病棟における病院看護および介護老人保健施設において中間施設看護の経験を有する。	実践例を通して、高齢者の多様性に則した対象者把握・アセスメント・看護援助の方法に関する思考過程を育成する。加えて、認知症高齢者のBPSDへの対応などについて具体的な看護援助を教授する。
		老年看護学Ⅱ (疾病と障害)	KSP21102	必修	1	15		
		老年看護学Ⅲ (理論とアセスメント)	KSP21206	必修	1	30		
		老年看護学Ⅳ (症状とケアプラン)	KSP31201	必修	1	30		
梅川 奈々	専任	老年看護学Ⅱ (疾病と障害)	KSP21102	必修	1	15	看護師として、総合病院の脳神経外科、整形外科等での臨床経験がある。入院患者のうち、高齢者がほぼ9割を占めていた。	高齢者の特徴について理解できるように、自己の実務経験を踏まえて教授している。特に、高齢者に多い疾患、認知症などを踏まえたアセスメントの視点について教授している。
		老年看護学Ⅲ (理論とアセスメント)	KSP21206	必修	1	30		
		老年看護学Ⅳ (症状とケアプラン)	KSP31201	必修	1	30		
合田 友美	専任	小児看護学Ⅰ (概論と保健)	KSP21103	必修	1	30	大学病院に勤務し、消化器疾患、内分泌疾患、神経疾患等の子どもの看護を担当。また、同院健康診断センターに勤務し、高校生、大学生の健康管理に携わった。	臨床での経験をもとに、乳児から思春期の各期の子どもの成長・発達の特徴をふまえた健康の保持、増進、回復に向けた看護援助を紹介、教授する。
		小児看護学Ⅱ (主な疾患と看護)	KSP21104	必修	1	15		
		小児看護学Ⅲ (健康障害のある小児と家族への援助)	KSP21207	必修	1	30		
		小児看護学Ⅳ (小児のアセスメントとケア論)	KSP31302	必修	1	30		
西田 千夏	専任	小児看護学Ⅲ (健康障害のある小児と家族への援助)	KSP21207	必修	1	30	小児専門病院での看護師として、主に長期療養を必要とする小児と家族への看護を実践してきた。NICUからの継続看護、在宅療養に向けた支援に関する実務経験も有している。	健康障害や療養環境が小児と家族に及ぼす影響、事例をアセスメントし問題解決に繋げる方法、および小児看護の基本的技術に関して、実務経験を基に教授する。
		小児看護学Ⅳ (小児のアセスメントとケア論)	KSP31302	必修	1	30		

担当教員	専任/ 非常勤	授業科目	科目No.	必修/ 選択	単位数	時間数	実務経験概要	実務経験の反映内容
上山 直美	専任	母性看護学Ⅱ (女性生殖・周産期医療)	KSP21106	必修	1	15	大学附属病院、国立病院、助産所、保健センターにおいて助産師としての臨床経験がある。	周産期の女性と新生児に対する心身、社会的な側面と特徴と看護ケアの指導、看護過程の展開について教授する。
		母性看護学Ⅲ (周産期アセスメント)	KSP21208	必修	1	30		
		母性看護学Ⅳ (周産期ケアマネジメント)	KSP31202	必修	1	30		
堀 陽子	専任	母性看護学Ⅳ (周産期ケアマネジメント)	KSP31202	必修	1	30	総合病院の産科及び内科病棟で助産師、看護師としての臨床経験がある。	臨床での事例を踏まえ、母性看護学の対象となる妊婦、産婦、褥婦、新生児への支援に必要な看護技術とその注意点を演習を通して講義する。
八田 勘司	専任	精神看護学Ⅰ (精神保健)	KSP21107	必修	1	30	公立の精神科病院(20年)と国立大学病院手術部(5年)の看護師としての臨床経験がある	精神看護学の課題や精神保健の考え方などを講義する。看護に必要な精神疾患と精神症状と看護について、臨床経験を踏まえた事例を中心に講義する。
		精神看護学Ⅱ (主な精神疾患と精神症状)	KSP21108	必修	1	15		
美王 真紀	専任	精神看護学Ⅳ (地域における援助)	KSP31101	必修	1	30	精神科病院において訪問看護業務を行った経験を持つ。	臨床での実践を踏まえた、地域に住む精神障害者の生活のしずらさ、援助に必要な知識と技術、精神障害者の捉え方について講義等を行う。

実務経験のある教員等による授業科目の単位数	33
-----------------------	----

(重複科目は除く)